



みんなでまなび、つたえよう！

世界では、いまでも戦争や空襲できずつき、くるしんでいる人たちがいます。

日本でも、81 年前におわった戦争のなかで、東京をはじめ、日本じゅうが空襲を受け、たくさんの人がきずつき、くるしみ、いのちをうばわれました。

戦争や空襲がおこると、人びとはどのような状況においこまれてしまうのかー

あらそいがつづくいまだからこそ、過去の歴史からそれをまなび、平和やいのちの大切さについて、みんなでいっしょに考えてみませんか？

イベントは全部で 5 日間あります。

すべての日で、戦争や空襲を体験した人たちの話を聞くことができます。

今年は、障害のある人や、日本にいた朝鮮出身の人など、さまざまな立場の人たちが戦争のなかでどのような体験をしたのかも取りあげます。

質問や感想のコーナーもあります。

自由研究や平和学習にもやくだつでしょう。

ぜひ、ご参加ください！

**イベントの日程と内容、
参加や申込のしかたなどは、
このチラシのウラをみてね！**



【イベントの日程と内容】

8月8日（土）

13:00～16:00 【会場のみ】

「東京大空襲を学ぼう」

団体用の見学プログラム（ガイダンス、映像鑑賞→継承者による空襲体験紙芝居→ガイド付き展示見学）を通じて、東京大空襲のことをひととおり知り・学ぶことができます。このイベント限定で、朗読企画「肢体障害者の戦争・空襲体験」もあります（展示見学の前）。

8月9日（日）

13:00～16:00 【会場のみ】

「東京大空襲を学ぼう」

団体用の見学プログラム（ガイダンス、映像鑑賞→継承者による空襲体験のお話→ガイド付き展示見学）を通じて、東京大空襲のことをひととおり知り・学ぶことができます。このイベント限定で、朗読企画「朝鮮人の戦争・空襲体験」もあります（展示見学の前）。

8月11日（火・祝）

13:00～15:30 【会場のみ】

「紙芝居で考える戦争・空襲」

埼玉大学有機農業研究会が紙芝居「三月十日のやくそく」「父さん母さんに会いたい」を実演し、内容の説明もおこないます。それを通して、「戦争・空襲と子どもたち」について、参加者といっしょに考えます。

★終了時刻はすべて最長の場合です
★途中での参加・退出も OK です

8月15日（土）

13:00～16:00 【会場&リモート】

「東京大空襲を学ぼう」

団体用の見学プログラム（ガイダンス、映像鑑賞→体験者による空襲体験のお話→ガイド付き展示見学）を通じて、東京大空襲のことをひととおり知り・学ぶことができます。このイベント限定で、体験者（西尾静子さん）のお話と質疑応答の時間を延長します。

8月16日（日）

13:00～16:00 【会場&リモート】

「聴覚障害者の戦争・空襲体験」

耳が聞こえない加藤八重子さんは、戦争中、東京聾学校に通い、4年生（9歳）で学童疎開を経験しました。東京に残っていた兄・賢一さんも聴覚障害者で、東京大空襲を体験し、母と妹（八重子さんの姉）を亡くしました。当日は、おふたりの体験や現在の思いなどを、手話通訳や映像も交えて伝えます。もちろん、質問・感想コーナーもあります。

イベント期間中は、高校生以下
限定の「展示クイズ」もやって
るよ！
展示を見学して答えを見つけ
よう！ 景品もあるらしい…



スーム

【参加方法】 当日参加 …会場（先着 70 名） または リモート（Zoom、※8月15日・16日のみ）

後日視聴 …オンデマンド配信（一部）

オンデマンド配信のご案内は
8月の第5週ごろを予定しています

【参加費】 当日参加 1企画あたり（会場・リモート共通）

小中高生：500円、25歳以下・会員：800円、一般：1,000円 ※障害者の介助者・付添は1名まで無料

【参加申し込み】

7月15日（水）以降、当センターのホームページにてご案内

※トップページまたは「お知らせ」ページより詳細をご確認のうえ、案内に従ってそのまま手続きをおこなってください。

※センターへのお電話・FAXでもお申し込みを受け付けます。参加する日程と参加者の名前・人数・連絡先（電話番号）をお知らせください。

※申し込み締め切りは、企画ごとに、本番の2日前までです。

東京大空襲・戦災資料センター

〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4

TEL 03-5857-5631 FAX 03-5683-3326

ホームページ <https://tokyo-sensai.net/>

郵便振替口座 00170-6-123225（加入者名：東京大空襲・戦災資料センター）

